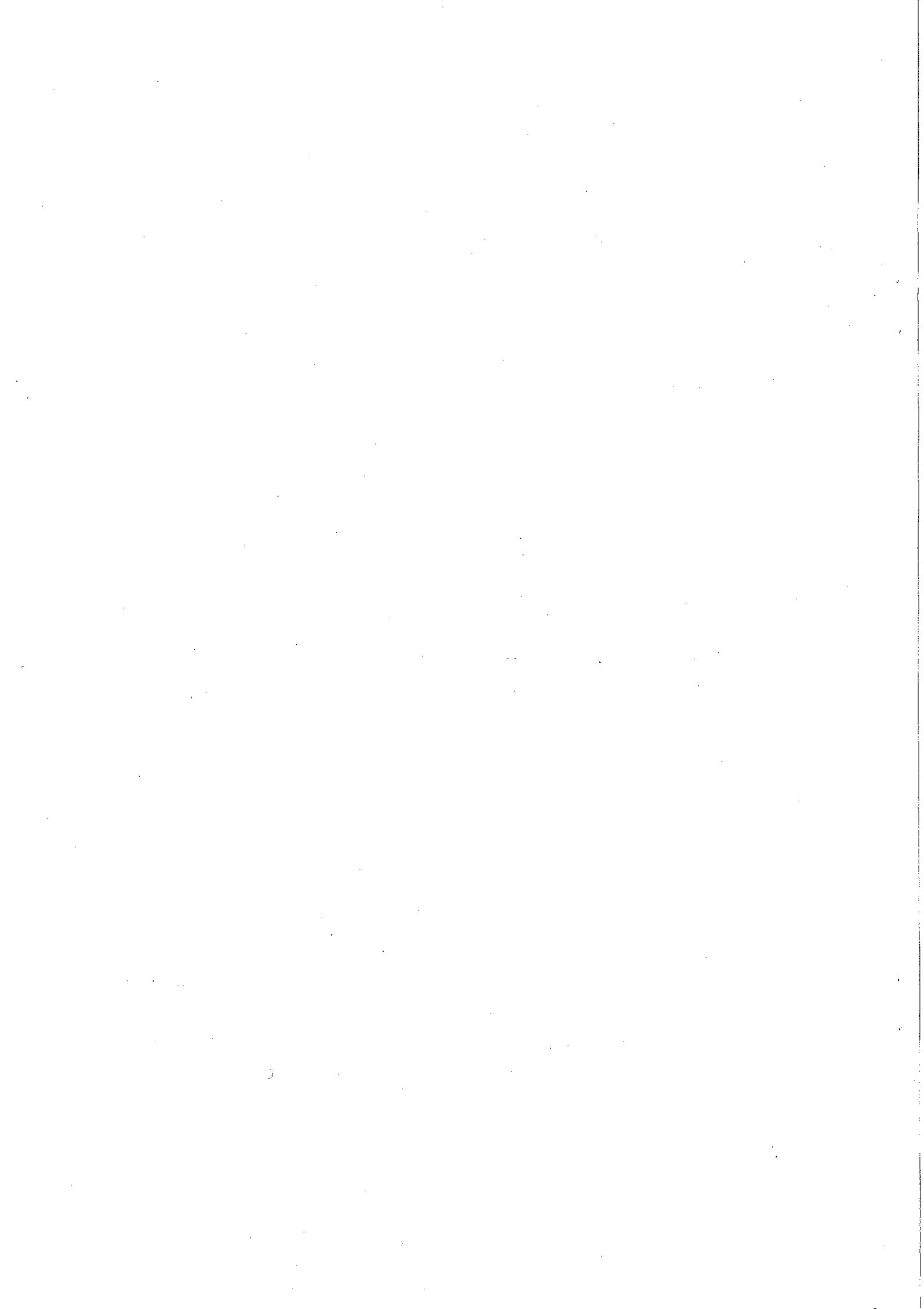


平成26年9月3日

平成25年度  
決算審査監査委員報告



それでは、平成25年度決算等の審査結果につきまして、監査委員を代表して、私からその主な内容についてご報告させていただきます。

はじめに、地方自治法の規定に基づき審査に付されました平成25年度桑名市一般会計及び特別会計歳入歳出決算につきましては、審査の結果、各決算書及び決算附属書類は、地方自治法施行規則に定められた様式により作成され、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認められました。

決算全体を見ますと、歳入総額732億9,986万円余、歳出総額715億7,056万円余で、差引き17億2,930万円余の黒字決算となり、前年度に比べますと歳入総額で1.7%、歳出総額で2.5%、それぞれ増加しております。

また、主な財政指標といたしまして、財政力指数は0.858で、前年度より0.005ポイント、経常収支比率は、97.8%で0.6ポイント悪化いたしております。

まず、一般会計の決算状況につきましては、歳入歳出差引額は12億7,819万円余で、これが形式収支額となり、これから、翌年度へ繰り越すべき財源1億8,648万円余を差し引いた10億9,170万円余が実質収支額となっております。

科目別の歳出内容は、お手元の意見書に記載のとおりでございます。

次に、特別会計の決算状況でございますが、国民健康保険事業をはじめ、7つの特別会計の歳入歳出差引総額は、4億5,110万円余で、前年度に比べ2億9,785万円余、39.8%減少しております。

各特別会計の決算内容は、意見書に記載のとおりでございます。

また、各基金の運用状況を審査した結果、設置目的に沿って適正に運用されており正確であると認められました。

一般会計及び特別会計の決算審査の概要は、以上のとおりでございます。

意見書にも述べておりますが、収入未済額につきましては、各担当部署において、その解消に向けて鋭意取り組まれ、一定の成果を上げておられるところではありますが、財源確保や負担の公平性の観点から、今後も引き続き、効果的な収納対策と新たな収入未済額の発生防止に取り組まれることを望むものであります。

一方、歳出につきましては、厳しい財政状況の中で、種々の事業が着実に推進され、予算執行も適正に処理されていると認められました。しかしながら、決算時に多額の不用額が見受けられるケースもございますので、不用額が見込まれる場合は、早期の減額処理をすることはもとより、その発生要因を検証し、適切な予算の計上に努められ、限られた財源を有効に活用されるよう望むものであります。

次に、地方公営企業法の規定に基づき審査に付されました、平成25年度桑名市水道事業会計、桑名市下水道事業会計の決算審査の結果につきましては、決算書及び附属書類は関係法令に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認められました。

桑名市水道事業会計の業務実績、収入及び支出の状況等につきましては、お手元の意見書に記載のとおりでございます。

財政状況につきましては、水道料金改定に伴い、水道事業収益で前年度に比べ1.1%の増加となり、水道事業費用については6.0%の減少となったため、本年度は3,744万円余の純利益を生じております。

業務実績をみますと、近年、長く続いた景気の低迷や節水意識の向上、節水機器の普及などが影響して、水需要は減少傾向にあり、年間総配水量は2.0%、有収水量0.6%ともに前年度より減少しておりますが、有収率につきましては、1.2ポイント向上いたしております。

今後も給水収益の大幅な増加は期待できないものと予想される中、一方で施設や配水管等の老朽化に伴う改良工事や地震防災対策の推進など、今後、多額の費用が必要となることが見込まれますことから、事業運営に当たりましては、引き続き経営の効率化を推進し、中・長期的な経営の安定に向けて、より一層の努力を望むものであります。

桑名市下水道事業会計の業務実績、収入及び支出の状況等につきましては、お手元の意見書に記載のとおりでございますが、本年度におきましても、2,463万円余の純損失を生じているところであります。

下水道整備事業は、今後も継続的に建設投資を実施していく必要がありますことから、事業執行にあたりましては、下水道普及率の向上に努められるとともに、引き続き諸経費の節減や事業の効率化・合理化をより一層推進することで経営基盤の強化を図り、健全な事業運営に努められるよう望むものであります。

次に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づく審査結果につきまして、ご報告させていただきます。

総合意見といたしましては、審査に付されました各指標の算定基礎となる事項を記載した書類は、いずれも法令に準拠し、指標の計数は正確であると認められました。

平成25年度の健全化判断比率を個別に申し上げますと、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、赤字が生じていないため算定されず、実質公債費比率につきましては前年度と同率の11.3%となっており、早期健全化基準の25.0%と比較しますと大きく下回っており、良好な状態にあると認められました。

また、将来負担比率は97.6%となっており、前年度より大きく17.9ポイント改善され、早期健全化基準の350.0%と比較しても、良好な状態にあると認められました。

さらに、公営企業資金不足比率にかかる審査の結果は、農業集落排水事業特別会計、水道

事業会計及び下水道事業会計のいずれも、書類は法令等に準拠して適正に作成されており、計数は正確であると認められ、資金不足額が生じないため、資金不足比率は算定されず、経営状況は良好であると認められました。

以上、極めて概略的な内容となりましたが、平成25年度桑名市一般会計及び特別会計、公営企業会計の決算、並びに財政健全化の審査結果についての報告とさせていただきます。

